

町長コラム

海田町長 西田 祐三

「今年度の重点施策の進捗状況等について(抜粋)」

vol.3

6月9日(日)に実施した防災訓練には、過去4年間で最も多くの住民の皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。アンケートなどでいただいたご意見を踏まえ、「備えあれば憂いなし」をモットーに、災害に強いまちを皆さんとともにつくってまいります。

災害に強いまちづくり

広島県が実施していた瀬野川の浚渫工事は、梅雨入りのため、一旦終了しましたが、今年末に再度浚渫工事を実施する予定です。また、県が実施する三迫川の災害復旧工事について受注業者が決定いたしました。

新公民館および魅力づくり

東京2020オリンピック聖火リレーの県内ルートが発表され、海田町も選定されました！この好機を逃さず、織田幹雄さんの功績をさらにアピールし、海田の魅力の発信に努めてまいります。

子どもがいきいきと育つまちづくり

母子手帳アプリの運用開始に向け、モニタリング調査を実施しているところです。積極的に活用していただければ、10月の運用開始に向けて着実に取り組んでまいります。

今月のつばき

海田の蛸の季節が過ぎ、「ひまわり」の季節となりました。雨への備えに加えて、暑さ対策にも万全を期しましょう。



▲5月31日(金) 県・市町連携会議で湯崎知事が、ひまわりプラザを視察

ま ち の 話 題

4/23

自主防災リーダーによる積極的な意見交換会を開催！ 防災体制調査分析住民ワーキンググループ

平成30年7月豪雨災害を踏まえた防災体制調査分析業務の一環として、4月17日(木)と23日(火)に住民目線の実効性ある防災対策を検討するためのワーキンググループを開催しました。

このワーキンググループは、広島県自主防災アドバイザーをファシリテーターとして、海田町自主防災リーダーの皆さんが「防災情報の周知徹底及び防災意識向上のための取り組み」「危険性を自らのこととして認識できる取り組み」「避難情報の伝達・取得方法とこれを避難行動に繋げる取り組み」をテーマとして議論し、その結果を発表するという要領で実施しました。

議論では、日ごろの思いや災害時の経験に基づく意見など積極的な意見交換がなされ、とても有意義な提言をいただくことができました。今後、より一層の減災に向けた防災業務の参考させていただきます。



意見交換のようす ▲



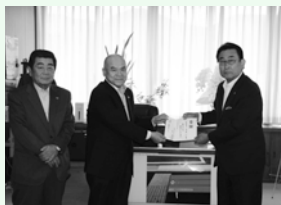
◀ 有意義な提言をいただきました

5/20

ふれあいバスの利用が便利に！ バス停のベンチを寄贈してもらいました

ふれあいバス(循環コミュニティバス)の利用者の利便性向上のため、広島あさひライオンズクラブ(会長 三浦裕豊さん)から、海田市駅南口停留所に「レスキューベンチ」2台を寄贈していただきました。

バスを待つ利用者の利便性に寄与するとともに、緊急時には担架として使用することができます。



広島あさひライオンズクラブ ▲



バス停のベンチ ▲

5/24

郵便局との包括連携 町内の郵便局と協定を結びました

5月24日(金)に、町と町内の5郵便局(海田、海田中店、東海田、海田大正町、海田三迫)とで、協働した取組を行うため、包括的な連携協定を結びました。

今後、町の活性化のため、さまざまな分野で連携していきます。



海田町内郵便局 ▲